

三河の昆虫

No. 20 1978年4月

〒441-01 宝飯郡小坂井町
大字伊奈字佐脇原 300-1062
山崎隆弘方
三河昆虫研究会 発行
第一プリント社 印刷
☎《0564》②4463

三河の甲虫雑報 (2)

豊川市財賀寺での採集報告

山崎隆弘

財賀寺のある観音山(標高411 m)は、豊川市の北西部、本宮山と新箱根山系とのほぼ中間に位置する。したがって、三河の甲虫の移行を知る上で一つのポイントとなる所である。

財賀寺は社寺林としてよく保存され、一帯の樹林は杉やツブラジイなどの大木で天然林を形成している。また、中復より山頂に至るハイキングコースは、暖帯性の灌木が続き、叩網をするのに適している。

筆者は、1977年4月10日～6月8日の間に計5回の採集を試みたので、その結果を報告する。ここに、常に暖かな助言を与えられた大平仁夫博士、採集に同行された虫友の松野更一氏に深く感謝の意を表する。

採集の概要

4月10日(晴)

山頂まで別コースで往復。採集した種の概要は、コガネムシ科のクロマルエンマコガネとハナムグリの2種。コメツキムシ科のミズギワコメツキの1種が多く、他にドウガネヒラタコメツキ、アカハラクロコメツキの3種。カミキリムシ科はヒメクロトラカミキリ、ナカジロサビカミキリの2種。ハムシ科はキムネアオハムシ、ホソチビアラゲサルハムシ、シロオビアラゲサルハムシなど9種を得た。他にはベニボタル科の1種、テントウムシ科の4種、ゴミムシダマシ科の1種、ゴミムシ科の3種、ハムシダマシ科の1種、オトシブミ科の5種、その他8種で、採集した甲虫は41種 174頭であった。

4月17日(うす曇)

午前10時頃より2時間余の採集をした。日当りのよいヤブツバキを叩網したところ、アマダテントウ1頭を得た。他に主な採集品は、カミキリムシ科のヒナルリハナカミキリ、キバネニセハムシハナカミキリと前回にも得たヒメクロトラカミキリ、ハムシ科のサクラケバカハムシなど8種。オトシブミ科のファーストハマキチョッキリ、ヒメケバカチョッキリ、ルリオトシブミ、カシルリチョッキリの4種。そしてゴミムシ科の2種、ジョウカイボン科の1種、コメツキムシ科の1種、ゾウムシ科の4種で、採集した甲虫は28種 108頭であった。

5月8日(晴)

3時間あまりの採集をした。採集した種の概要は、コガネムシ科のアシナガコガネ、コイチャコガネの2種。コメツキムシ科のアカヒゲヒラタコメツキ、キバネホソコメツキ、ヒメクロコメツキ、クシコメツキを得た。ハムシ科のクロウリハムシ、ヨツボシハムシ、アトボシハムシ、ヤマイモクビボソハムシ、アザミクビボソハムシ、キベリクビボソハムシなど12種。なかでも、キベリクビボソハムシは三河地方では稀な種に属する。他の甲虫はアトキリゴミムシ類14頭、ベニボタル科の2種、チビタマムシ類の4頭、カミキリモドキ科の1種、ルリテントウダマシ、ゾウムシ科の2種などで、採集した甲虫は30種 98頭であった。

5月15日(雨のち曇・強風)

午後2時から5時まで松野氏と山頂付近まで往復した。採集した種の概要は、ミカワオサムシ、ゴミムシ科はヤホシゴミムシ、ハネビロアトキリゴミムシ、ジュウジゴミムシ、ルリヒラタゴミムシ、ヒトツメアトキリゴミムシ、オオクビソゴミムシの6種。コガネムシ科はハイイロビロードコガネを唯1種。コメツキムシ科はアカヒゲヒラタコメツキなど4種。カミキリムシ科は唯1種ではあるが、ツブラジイの花上よりジョウカイボン科2種に混って、稀種のクビアカドウガネハナカミキリを得た。その他の甲虫では、ハムシ科の4種、カミキリモドキ科の1種、ベニヘリテントウ、ムネクリイロボタル、ハムシダマシ科の1種、ベニボタル科の2種、オトシブミ科の2種、そしてゾウムシ科のオリブアナアキゾウムシ他4種で、採集した甲虫は30種64頭であった。

6月8日(晴)

午後3時から5時にかけて、山頂付近まで採集を行なう。種の概要は、コメツキムシ科のサビキコリ、ホソサビキコリの2種、カミキリムシ科はこの日最も多く得られた。キッコウモンケシカミキリ、ヒトオビアラゲカミキリ、アトジロサビカミキリ、ヒメヒメナガカミキリ、アトモンサビカミキリ、ヨツボシカミキリ、ニイジマチピカミキリの8種である。ハムシ科はセモンカメノコハムシ他4種。コガネムシ科も4種で、コガネムシ、ヒメコガネ、マメコガネ、シロテンハナムグリを得た。その他、ベニボタル科の1種、ナガボソタマムシの1種を12頭、ゴミムシ科の2種、キノコアカマルエンマムシ、オオミスジマルゾウが得られ、他にムネクリイロボタルなどで、採集した甲虫は32種77頭であった。

種についての若干の記録

1. *Aptomopterus insulicola arrowianus* Breuning

ミカワオサムシ

17-IV, 1977 (I ex.).

アオオサムシ科の1種で、愛知・三重・岐阜県にかけて分布する亜種である。唯1頭得たの

みであるが、林内には広く生息しているものと思われる。

2. *Amida tricolor* Harold

アミダテントウ

17-IV, 1977 (I ex.).

暖地性の種であるが、三河地方での記録は、幡豆沖の島と大入溪谷があるのみである。

3. *Hoplia communis* Waterhouse

アシナガコガネ

8-V, 1977 (I ex.).

三河地方では、寺下(1967-猿投山)での多産記録と、松野(1975-段戸山)の記録があるくらいである。

4. *Neopristiphorus serrifer* (Candeze)

アカヒゲヒラタコメツキ

8-V, 1977 (I ex.), 15-V, 1977 (I ex.).

三河地方では、大平他(1976-一本宮山, 鳳来寺山)の記録があるのみである。筆者は他に石巻山, 作手村, 小坂井町でも得ている。

5. *Corymbitodes gratus* (Lewis)

トウガネヒラタコメツキ

10-IV, 1977 (I ex.).

三河地方での個体数は、どこでも多くない。大平他(1976-三河大野, 蒲郡, 段戸山), 大平(1975-茶臼山)の記録がある。

6. *Pseudelater carbunculus* (Lewis)

ヒメクロコメツキ

8-V, 1977 (I ex.).

各地で得られているが、記録の少ない種である。山崎(1975-日本ヶ塚山), 大平他(1976-一本宮山)などがある。

7. *Egesina bifasciana* Matsushita

ニイジマチピカミキリ

8-VI, 1977 (I ex.).

小型種のためか、東海地方では記録の少ない種である。

8. *Monochamus subfasciatus* Bates

ヒメヒゲナガカミキリ

8-VI, 1977 (I ex.).

三河地方の各地にみられるが、新箱根山系ではまだ得られていない。

9. *Gaurotes atripennis* Matsushita

クビアカドウガネハナカミキリ (第2図)

三河地方での記録は、岩月 (1953—岡崎) があるのみで、当地方では稀種に属する。

10. *Notodoma fungorum* Lewis

キノコアカマルエンマムシ

8—Ⅵ, 1977 (3 exs.)。

本種は多孔菌から発見される。三河地方からの記録は、佐藤 (1976—茶臼山) のがあるのみ。しかし、そんなに珍しいものではない。

11. *Oomorhoides cupreatus* (Baly)

ツヤハムシ

17—Ⅳ, 1977 (1 ex.), 8—Ⅴ, 1977 (8 exs.)。

全部で9頭得られたが、すべて原型 (ドウガネ色) ばかりであった。本宮山では、アオグロ色 (f. *yuasai*) が得られるのでこの現象は興味がある。

12. *Gonioctena rubripennis* Baly

フジハムシ

10—Ⅳ, 1977 (1 exs.), 17—Ⅳ, 1977 (5 ex.), 8—Ⅴ, 1977 (6 exs.)。

得られた12頭のうち、黒条型 (f. *plagipennis*) が10頭と原型よりもはるかに多かった。原型は北海道南部から以南の日本各地に分布するが、黒条型は南東南部から東海・近畿・山陽と四国北部に分布する。この型が高い割合で産するのは、この地が地理的にみて、分布のほぼ中心にあっているためではないかと思われる。

13. *Lema adamsii* Baly

キベリクビボソハムシ

8—Ⅴ, 1977 (1 ex.)。

三河地方での記録は少なく、佐藤 (1976—茶臼山付近) があるのみである。本種の食草はヤマイモなので、今後注意して頂きたいと思う。

14. *Cassida versicolor* (Bohemian)

セモンカメノコハムシ

8—Ⅵ, 1977 (1 ex.)。

セモンジンガサハムシともいう。本種には原型 (翅鞘扁平縁に帯状紋がある) の他に、無尾型がある。この型は東海地方から東南アジアにかけて分布している。ここで、採集した個体は原型であった。大野 (1970) によると、普通混棲地では無尾型の占める割合が原型よりも多い

ということである。

15. *Hylobius cribripennis* Matsumura et Kono

オリーブアナアキゾウムシ

15—Ⅴ, 1977 (1 ex.)。

伊藤 (1964—石巻山) の記録があるが、他からの記録が見当たらない。

16. *Phaeophilus major* Roelofs

オオミスジマルゾウムシ

8—Ⅵ, 1977 (1 ex.)。

三河地方では、これが最初の記録と思われる。

17. *Byctiscus fausti* Sharp

ファーストハマキチョッキリ

17—Ⅳ, 1977 (3 exs.)。

三河地方での記録は、山崎 (1975—蒲郡) があるのみと思われる。

18. *Euops punctatostrata* Motschulsky

ルリオトシブミ

10—Ⅳ, 1977 (1 ex.), 17—Ⅳ, 1977 (1 ex.)。

三河地方ではこれが最初の記録と思われる。

19. *Merhynchites assimilis* Roelofs

カシルリチョッキリ

10—Ⅳ, 1977 (2 exs.), 17—Ⅳ, 1977 (1 ex.)。

三河地方での記録では、佐藤 (1976—茶臼山付近) があるのみである。

財賀寺の甲虫相は、今度の採集品からみると、三河南部の各所とほぼ同じである。しかし、アマダテントウやキベリクビボソハムシやクビアカドウガネハナカミキリなど、三河地方ではきわめて稀な種が得られている。また、フジハムシの黒条型が原型より多いという事実や、ツヤハムシは原型のみであったこと。セモンカメノコハムシが、色彩多型種のパターンを知る上で前種同様に興味ある種が見出されたことなど注目される。

しかし、今回採集された種は、まだ断片的なものである。今後ともさらに調査を進め、関連する本宮山と新箱根山系の甲虫相の究明も合わせて行ないたいと思う。

引用文献

大野正男(1970)淡路島のハムシ相(2):兵庫
生物6巻2号:150-152

——(1971)日本産ハムシ名彙:東洋大学
紀要13号:31-126

大平仁夫(1975)茶臼山のコメツキ雑記:三
河の昆虫№11:41-42

大平仁夫・佐藤正孝(1973)西尾市の甲虫類
:西尾市の生物・動物:275-306

大平仁夫・浅岡孝知(1976)愛知県のコメツ
キムシ・茶臼山高原道路建設予定地域付近の昆
虫相:141-153

佐藤正孝(1976)茶臼山・面ノ木峠一帯の甲
虫相:茶臼山高原道路建設予定地域付近の昆虫
相:155-175

穂積俊文(1966)東海甲虫誌(第14報)ハム
シ科:佳香蝶 Vol. 18 №67:91-113

伊藤昭博(1964)石巻山の甲虫類:石巻の生
物(第1集):4-23

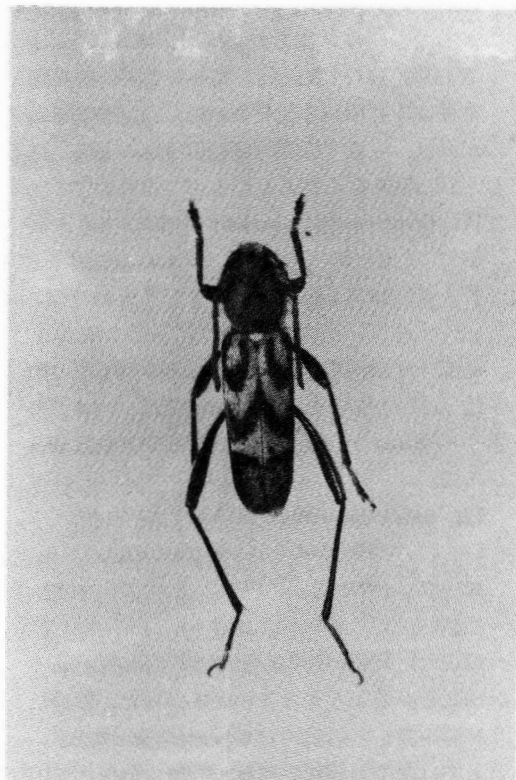
寺下正清(1967)猿投山に産する甲虫類:虫
譜 Vol. 10:24-27

松野更一・松野光恭(1975)東三河の食葉性
コガネムシ:三河の昆虫№12・13:45-51

山崎隆弘(1973)三河地方で採集した珍らしい
甲虫:三河の昆虫№3:9-11

——(1975)日本ヶ塚山のコメツキムシ12
種:三河の昆虫№9:34-35

中根憲彦・他(1963)北陸館原色昆虫大図鑑
(II)



キンケトラカミキリを三河高原で採集

河路掛吾

キンケトラカミキリ *Clytus auripilis* BATES を
東加茂郡下山村で採集しているので報告する。

5, V, 1976, 1 ex. 筆者採集。

本種はカエデの花に来ていたもので、約10m
の大木の最下位にある枝の花(地上約1m)で
採集した。このカエデにはコジマヒゲナガコバ
ネカミキリ, アカイロニセハムシハナカミキリ,

ミヤマルリハナカミキリ等の多くのカミキリが
来ていた。

なお、本種の愛知県における記録は筆者の知
る限りでは、これが初めてだと思われるので報
告することにした。